

◆ こんにゃく作況調査を実施

8月10日(月)、鹿沼市、茂木町において、平成21年度産のこんにゃく生育状況を把握するため第1回目の作況調査を行った。

6月～7月にかけて日照時間が少なく、生育が懸念されたが、球茎の肥大、葉柄長、葉身長ともに平年を上回っており、今後の作柄が期待される。



◆ 「なすひかり」生産拡大大会を開催

8月21日(金)、宇都宮市のアピアにおいて、なすひかり普及推進協議会主催(マーケ協事務局)の「なすひかり生産拡大大会」を開催した。JA、生産者代表、なすひかり取扱卸、県関係機関から約100名が出席し、「なすひかり」の生育状況、品質向上対策、集荷・販売計画について報告を受けた。

また、「なすひかり」取扱大手卸「木徳神糧株式会社」榎水康彦氏が「“売れる米作りに向けて”なすひかりの現状と課題」について講演し、消費者への認知度が上がってきたので、年間を通して販売したいと期待を込めた話をした。

大会では、販売量の拡大についての理解を深めるとともに、作付け目標面積6,000ヘクタールの早期実現に向け取り組むことを確認した。



◆ かみのかわ“かんぴょう収穫まつり”の開催



8月22日(土)、上三川町農村環境センター北側のほ場で、かみのかわ“かんぴょう収穫まつり”(上三川町干びょう推進対策協議会主催、とちぎ農産物マーケティング協会後援他)が開催された。町内外の親子連れが多数訪れ、収穫体験やかんぴょう剥き体験に参加した。また、太巻き等のかんぴょう料理を味わい、本県特産のかんぴょうに親しんだ。

◆ 平成21年産なし(豊水)統一目揃会の開催

8月28日(金)、JA会館で平成21年産なし(豊水)統一目揃会を開催した。収穫時期は平年より数日早まり、果実肥大はおおむね平年並みである。他産地との重複出荷が考えられるが、関係者一丸となってカラーチャート、目標糖度を遵守し価格の確保に努めることを申し合わせた。

◆ 輸出用なすひかりの収穫式

9月4日(金)、高根沢町で、香港に向けて輸出する「なすひかり」の収穫式が行われた。JAしおのや大島組合長、高橋町長をはじめ、県、生産者、関係者約40名が出席した。

「なすひかり」は香港での需要が高まっており、今年度の輸出量の目標は昨年度(12.7t)を上回る見込み。今回の取組みは、生産調整の制度を活用したもので、スーパーなど量販店に加え、和食レストラン等の業務用の販路開拓に期待している。



今後の予定

9月25日(金) なし(きらり)現地検討会(農業試験場他)

9月30日(水)～10月1日(木) こんにゃく共進会審査会(鹿沼市他)

10月1日(木) スプレーム研究会役員会(アグリプラザ)

10月8日(木) とちぎ銘柄牛懇談会(品川プリンスホテル)

10月9日(金) とちぎ銘柄牛販売促進(東京食肉卸売市場)

10月9日(金) こんにゃく作況調査(鹿沼市他)

10月10日(土) とちぎ農産物クチコミ隊「稲刈り・野菜収穫体験」(栃木市内)

栃木市内にて、6月に行った田植えと種まきの「稲刈り・野菜収穫体験」を開催する。大根・にんじん・落花生・さつまいもの収穫を行い、農業に対する理解促進を図る。

10月24日(土)～25日(日) 食と農ふれあいフェア(マロニエプラザ)

『地域再発見！美味しい 楽しい「とちぎの食の回廊」』をテーマに、県内9つの「食の街道」の紹介及び各街道の農産物及び特産品、開発商品の展示・販売、食育情報の発信、郷土料理、伝統文化の紹介、食と農の体験等を行う。詳細は別紙のとおり。

(社)とちぎ農産物マーケティング協会(平成21年9月発送)

TEL 028-626-2150 FAX 028-643-7853

<http://www.tochigipower.com/>